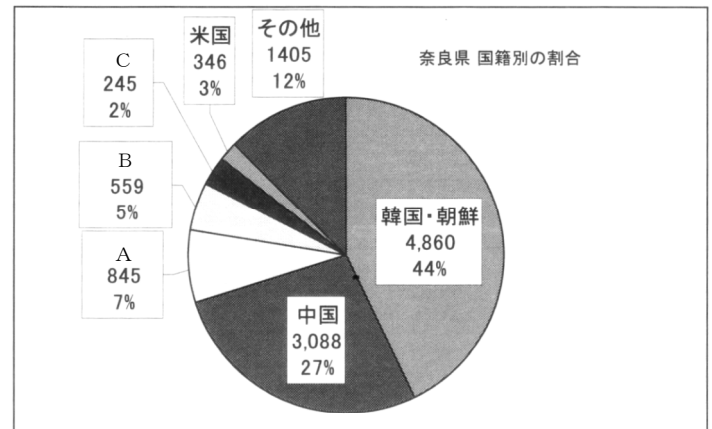
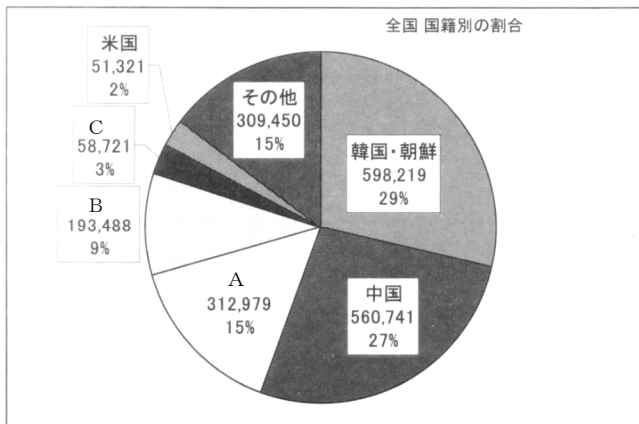


# 南米への移民と、南米からの日系人

年 組 名前

■外国人登録者数(2006年末)のグラフをみてください。2008年になり、全国の統計では、中国籍の人が韓国・朝鮮籍の人を上回りました。さて、それに続く、A・B・Cの国はどこでしょうか？



A :

B :

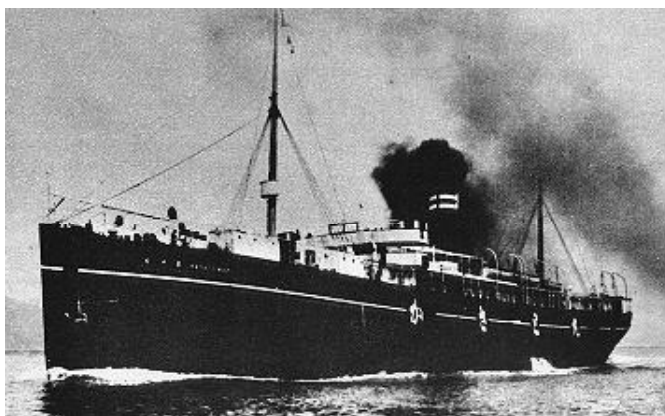
C :

■「ブラジルの奇跡」と呼ばれた70年代の経済発展から一転して、急激なインフレに見まわれた80年代のブラジルでは、移民やその子孫たちが諸外国へ出稼ぎに行くようになりました。

ペルーでも、70年代から80年代にかけて軍政が敷かれて、経済も不況に見まわれ、国外に出る人が増えました。

100年前の1908年から(D )年まで、約(E )万人の日本人が世界各地に移民しました。そのうち約(F )万人がブラジルに移民し、その子孫も含めると約150万人のもの日系人がブラジルで生活し、ブラジル経済を支えています。ペルーにも2万人以上の日本人が移民し、約8万の日系人が現在も生活しています。

そうしたブラジルやペルーなどの日系人が、「日系二世・三世とその家族の滞在を認める」という、1990年の(G )法改定で、日本に働きに来るようになったのです。



1908年4月28日に781人の日本人契約移民を乗せた(H )丸が、第1回ブラジル行き移民船として神戸港を出航し、約2カ月の長

旅をへて、6月18日にブラジルのサントス港に到着しました。



当時の移民募集ポスター



# 南米への移民と、南米からの日系人

答え

A ブラジル、B フィリピン、C ペルー、D 1973、E 103、F 25、

G 入管法(出入国管理及び難民認定法)、H 笠戸

I 40、J 言葉、K 労働力、L フィリピン、M 59、N 国際